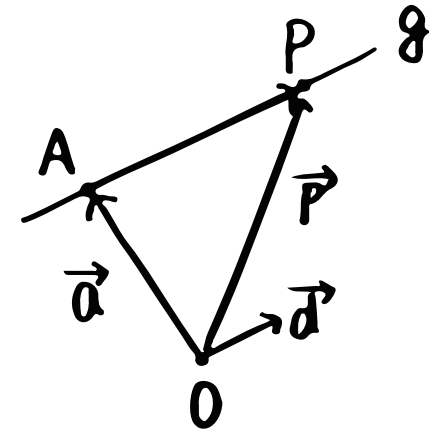


数B (ベクトル方程式 ①)

- ④ 点A(\vec{a})を通り、 \vec{d} ($\neq \vec{0}$)に平行な直線を g とすると、直線 g 上の任意の点P(\vec{p})は $\vec{p} = \vec{a} + t\vec{d}$ となり、これをベクトル方程式、 t を媒介変数という。また、 $P(x, y)$ 、 $A(x_1, y_1)$ 、 $\vec{d} = (d_1, d_2)$ とすると、左のように表すことができ、これを直線 g の媒介変数表示という。
- $$\begin{cases} x = x_1 + td_1 \\ y = y_1 + td_2 \end{cases}$$



⑤ 次の点Aを通り、 \vec{d} が方向ベクトルである直線の媒介変数表示を、媒介変数 t を用いて求めよう。また、 t を消去した直線の方程式を求めよう。

④ $A(2, -3)$ 、 $\vec{d} = (-1, 2)$

⑤ $A(1, -2)$ 、 $\vec{d} = (-2, 3)$